

令和2年10月23日
外日角小学校
稲垣 一郎

クマやスズメバチによる被害の防止策について

紅葉の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、最近の報道やメールを通して、クマによる被害や目撃情報について、すでにご覧になられた方も多いかと存じます。

児童の登下校時において、もしもクマやスズメバチに遭遇したときに、身の安全を確保できるよう、防止策について指導しました。ご家庭におかれましても同様の声かけをお願いします。

クマによる被害の防止策

- クマを目撃した場合は、クマを刺激しないよう、静かにその場から立ち去るようにする。
- 子グマを目撃した場合も、母グマが近くにいる可能性があるので、速やかにその場から立ち去る。
- 出没情報がある地域や野山においては、クマよけの鈴など音が鳴るものを身につけ、人間の存在を知らせるようにする。

スズメバチによる被害の防止策

- スズメバチは、繁殖期の8～10月頃に攻撃的になる。巣を見つけても、近づいたり、いたずらしたりしない。
- 野山に出かける際は、長袖、長ズボンで肌を保護し、白や黄色など明るい色の帽子の着用に心がける。また、殺虫スプレーなどを携行する。

保護者の方へお願い

- クマを目撃した場合、または児童が目撃したことがわかった場合は、児童に注意喚起をするとともに、警察や学校に連絡をお願いします。